



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
119

令和3年 7月2日

「キングダム」から見たリーダー像

青森県総合社会教育センター 所長 大館利章



「キングダム（作者 原泰久）」という漫画をご存じでしょうか。「秦」「楚」「趙」「韓」「魏」「斉」「燕」という7つの国が割拠していた中国大陸の戦国時代に「秦」の「嬴政(えいせい)」(後の始皇帝)と、主人公「信」が紀元前221年頃、中華を統一していく歴史を描いた漫画です。

「秦」という国が中華統一を成し遂げることができたのは、ひとつの説として「秦」と「他の6つの国」のリーダーの社会の変化に対する対応の違いが大きく、「秦」以外の国は、それぞれの国の社会制度(氏族制社会(血縁関係による身分制))の変革を恐れ、その変革による影響を極力小さくしようとしたのに対し、「秦」はリーダーである嬴政(えいせい)が社会の変化を先読みし、さらにその流れを自ら加速させ、身分にかかわらず能力のある新しい人財を多数登用し、「秦」を新しい秩序に適應させたことが成功の要因であるという説もあるようです。

リーダーに求められる要素としては、主体性や判断力、コミュニケーション能力、課題解決能力などがあげられていますが、新しい社会のあり方や考え方に即時に対応でき、自分の考えに固執せず、いろいろな考えを広く取り入れていく「柔軟さ」は、リーダーに求められる要素に欠かせない重要なものであったことを「キングダム」から改めて感じているところです。

当センターでは、社会教育の充実振興を図り、県民の生涯にわたる学習意欲の高揚と学習活動の進展のために、関係機関等と連携しながら様々な活動を様々な面から総合的に実施することを運営方針として掲げています。その中の重要な役割の一つとして、「人財の育成」があげられます。当センターでは人財を育成していくための事業として、例えば「地域コミュニティの牽引者の育成」、「高校生や大学生の主体性を高めるための事業」、「教育支援活動コーディネーターのスキルアップ」、「家庭教育アドバイザーの養成」など多数の企画を準備し実施しています。

「令和」という新しい時代を迎え、まさに世の中は世界的にも様々な場面(生活面、科学面、医療面、教育面など)で新しい社会の流れが到来しているということを多くの人を感じるようになりました。新型コロナウイルス感染拡大により「新しい生活様式」という言葉も頻繁に耳にするようになりました。収束の見えないコロナ禍という前例のない「危機」の中、当センターにおいても講座・研修のあり方や運営方法、さらには今後、新しいテーマや考え方を時代に合わせ取り入れていかなければならないと感じています。

そして、当センターの講座・研修を受けた人たちが、社会が大きく変わり始めたこの時代をひとつの好機と考え、特にコロナ禍での逆境をむしろ追い風に捉えることができる人財となり、判断力、コミュニケーション力などに加え、新しい社会の流れを先陣を切って受け入れることのできる柔軟性に優れたリーダーとなり、今後、各地域や団体などをリードし、それぞれの活動を展開していってくれることを心から願っています。

※青森県では人は青森県にとっての「財(たから)」であるという基本的考えから、「人」「人材」などを「人財」と表しています。

青森県総合社会教育センター



〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <https://www.als.pref.aomori.lg.jp/>

令和3年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座のご紹介
～詳しくは当センターホームページをご覧ください～

本講座は、生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的としています。

そのため、新しく社会教育行政に関わることになった方を主対象とした「新任職員研修」（前期・後期の2回）、生涯学習・社会教育における普遍的また今日的課題について学ぶ「センター研修」（全4回）、県内各地区の地域課題に即した実践的な知識・技能の習得と人材の育成を図る「地区研修」（全6回）、社会教育主事等を主対象とし、専門性を高めるための研修「社会教育主事等専門研修」の4つの柱から構成されています。

当センターホームページでは、それぞれの研修についてご案内するとともに、終了しますと実施報告として「事業終了アーカイブ」ページにその時の様子などをご紹介します。

令和3年度講座の魅力あふれる講師陣、参加者の熱心な受講の様子を是非、ご覧ください。



ご案内はこちら



「事業終了アーカイブ」
はこちら



4/28実施
「社会教育主事等専門研修」より

高校生スキルアッププログラム推進事業



土曜日や日曜日、長期休業中に、学校外で実施されている様々な活動に進んで参加し、自らのスキルの向上を目指す高校生を応援するプログラムです。

変化に柔軟に対応できるたくましい高校生



高校生が参加できる各種活動情報の提供をお願いします！

当センターでは、高校生が参加可能な講座や講演会・ボランティア活動など情報を収集し、**高校生へ情報提供しています。**当センターホームページより、「各種活動情報 FAX 送信票」をダウンロードできますので、メール添付か FAX でご送信下さい。



→ <https://www.alis.pref.aomori.lg.jp/> 「ダウンロード」をクリック！

👉 [こちら](#)

【問い合わせ】 育成研修課 017-739-1253

〈家庭教育に関する事業のご紹介〉

1 子育てをしているパパ・ママが、あなたのサポートを待っています 「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座」

地域における家庭教育支援体制を整備するために、家庭教育支援者を育成し地域の子育てを支援するのが目的の講座です。今年度は、東青地区と三八地区で開催します。

開催日等：各会場ともに、6月から11月まで全6回

東青地区：県総合社会教育センター 三八地区：八戸市視聴覚センター・児童科学館

対象：家庭教育支援者を目指す方及び活動中の方、家庭教育支援に興味・関心のある方

内容：今日的な家庭教育支援の現状、課題及び解決方法について講義形式で学んだり、「あおもり親楽プログラム」の活用について演習形式で学んだりします。

定員：各地区20名

「あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ講座」

家庭教育アドバイザーとして活動中の方のためのスキルアップ講座です。Web 会議システムを使ったオンライン形式で開催します。

開催日等：日時、会場は調整中

対象：あおもり家庭教育アドバイザー

内容：講義「今、親が悩むこと」 演習「あおもり親楽プログラム」

定員：100名



★どちらの講座も、申込・問い合わせは県総合社会教育センター 教育活動支援課まで

2 子育てあるあるエピソードを通じ、家庭教育についてアドバイザーと共に考える 「あおもり家庭教育アドバイザー派遣」

対象：PTA、学校、市町村、市町村教育委員会、公民館、幼稚園、保育所、子育て・家庭教育支援団体等が行う参加予定者が5名以上の家庭教育支援に関する研修会、学習会、講座等。

申込方法：派遣希望団体は、所在する市町村教育委員会を通じて、派遣申込書を県総合社会教育センターに提出してください。（様式は当センターホームページ「ダウンロード」から）

3 子育てで困ったら、ひとりで悩まず、まずは電話かメールで相談！ 「すこやかほっとライン」

対象：乳幼児から高校生までの保護者や家族

○電話相談 017-739-0101

毎週月・水・木曜日13:00~16:00（祝日・年末年始を除く）

○メール相談 24時間受付 <https://kosodate-a.net>



「あおもり子育てネット」をご存じですか？「家庭教育支援動画制作普及事業」

県総合社会教育センターでは、子育て支援に関する動画を作成しています。当センターホームページでは、平成28年度から制作した48本の動画を公開しています。

また、令和2年度に制作した6つの動画は「あおもり子育てネット」として「YouTube」でも公開しています。今年度も新たなテーマで制作し、コンテンツを増やしていく予定ですので、お楽しみにしてください。



問い合わせ先 教育活動支援課 TEL 017-739-1270

社会参加活動に活発な「学生団体」の紹介！

今回は、県内で社会参加活動を意欲的に行っている高校生や大学生の団体にお邪魔し、どんな想いをもって活動をしているのかを伺いました。各団体の魅力をお伝えします！

学生団体 LINDEAL

Q 活動を始めたきっかけは？

A 全国規模の事業や留学を経験して一歩前に踏み出したい、キラキラしたいと思ったことがきっかけです。

Q 活動を通して感じたことは？

A コロナ禍でも活動を提供できたことで、変わりたい人たちの手助けができ、そのことでこちらも頑張ろうという気になりました。

Q 今後の抱負を教えてください。

A 夢を熱く語り、行動できる高校生を増やし、青森の未来を高校生の力で変革することが目標です。中高生の皆さん、私たちと一緒に活動しませんか？また沢山の企業を含む大人の方々からの応援に支えられて活動しています。これからもよろしくお願ひします。



10月 卒業生サミット

詳細はこちら↓



LINDEAL.AOMORI



Twitter

- 団体紹介 -

高校生だけで活動する社会参加活動団体。首都圏と青森の高校生の間にある3つの学生格差「機会格差」「情報格差」「意識格差」をゼロにすることが目標。

いつも笑顔が絶えないLINDEALのメンバー



[主な活動実績]

- 10月 卒業生サミット
- 11月 もぎこく！
- 12月 LINDEAL 国際交流部
- 1月 首都圏と田舎の高校生で当たり前になりたくれー！
- 2月 あおもり×〇〇
～青森の魅力、気付いてますか～
- 5月 Z世代会議 など

- 団体紹介 -

高校生、大学生だけで活動する社会参加活動団体。異年齢交流（主に小中学生）活動を通して、参加者も運営者も、本気で遊び本気で活動に取り組む。ナナメの関係づくりを通して自然と集まり交流できる場づくりを目指す。

Q 活動を始めたきっかけは？

A 異年齢交流のよさに共感したからです。小中学生だけではなく、私たち高校・大学生も視野が広がるし、何より学校とは違う自然と集まり交流ができる場づくりが心地よいです。

Q 活動を通して感じたことは？

A 小中学生に対して子ども扱いしてはいけないと思って活動しています。子どもは何も考えていないわけじゃない。自分の今の立場から、しっかり向き合うことを覚えました。昨年はコロナ禍で苦労しましたが、おかげで団体のスキルや団結力が高まりました。

Q 今後の抱負を教えてください。

A コロナ禍を経てメンバー同士スキルを共有して高め合い、互いの実力を発揮できた1年でした。団体は生き物、時代に合った活動をこれからもしていきます。



2月 冬のトレジャーハント

詳細はこちら↓



LESTA.2012



Twitter

学生団体レスタ



3月 工作実験教室

[主な活動実績]

- 12月 巨大絵本づくり
- 12月 ワールドカフェ
- 1月 ご当地クッキング！
- 2月 エンジョイサバイバル
- Zoom 寺子屋オンライン など



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。